

2020年 米艦船、南シナ海・台湾海峡での動き

□航行の自由作戦 (■は横須賀母港)、◇台湾海峡通過 (◆は横須賀母港)、●その他 2021.2.7 (新倉)

日付	出典	要 旨	備考
4.3	リムピース	(3月の在艦リスト) マッキャンベルは南シナ海パラセル(西沙)諸島付近で3月10日に「航行の自由作戦」を行った	□
3.26	Focus台湾	台湾国防部が26日、マッキャンベルが25日に台湾海峡を通過したことを明らかに	◇
4.11	産経新聞	台湾国防部関係者が11日、米駆逐艦(バリー)が10日～11日に、台湾海峡通過を明らかに。中間点を中国側に超えたのは異例	◆
4.24	ロイター	台湾国防部が24日、米艦が台湾海峡を南に航行と発表。第7艦隊報道部もバリーが通過の通常任務と発表	◆
4.30	日経新聞	米軍は29日、南沙諸島にバンカーヒルを派遣。28日にはバリーを西沙諸島に送った。2日連続の「航行の自由作戦」	□ □
5.14	東亜日報、NHK	第7艦隊が13日、マッキャンベルが同日、台湾海峡を通過したと発表	◇
5.18	東亜日報	香港紙が16日、ラファエル・ペラルタが上海沖に接近と報道。4月17日にもマッキャンベルが山東省威海42kmまで接近	● ●
6.12	taiwan news	駆逐艦ラファエル・ペラルタが6月11日、朝鮮半島西岸から南下し台湾海峡に入った。6月4日のラッセル以来	◆ ◇
7.15	産経新聞	太平洋艦隊が14日、ラルフ・ジョンソンがスプラトリー周辺海域で「航行の自由作戦」を実施と発表。5月28日以降の実施	□ □
8.29	神奈川(共同)	中国人民解放軍南部戦区報道官は27日、マスティンが同日、西沙諸島の「領海に進入」と非難	■
9.5	リムピース	(8月の在艦リスト) マスティンは、8月18日には台湾海峡を通過、27日には南シナ海で「航行の自由作戦」を行っている	◆ ■
9.1	星条旗新聞	第7艦隊が9月1日、8月30日にハルセイが台湾海峡を通過と発表。12日前にはマスティンが通過。今回で11回目	◆ ◇
10.3	リムピース	(9月の在艦リスト) ジョン S マケインは空母艦隊と別行動で、(9日に)南シナ海で「航行の自由作戦」を行った	■
21.1.30	リムピース	(ジョン S マケインは) 10月9日に、西沙(パラセル)諸島付近を通過する「航行の自由作戦」	■
10.16	産経新聞	第7艦隊、レーガンCGSが南シナ海へ入ったことを明らかにした。今年3回目	●
11.21	taiwan news	第7艦隊が21日、バリーが31日に「航行の自由作戦」で台湾海峡を通過と発表	■ ◆
11.25	産経新聞	第7艦隊が24日、マケインがウラジオストク沖のピョートル大帝湾で「航行の自由作戦」を実施と発表。2018年12月以来	■
12.19	Focus台湾	台湾国防部、19日に米艦1隻が台湾海峡を通過と発表。7艦報道資料ではマスティン。同海峡通過は12回目	◆
12.22	毎日新聞	第7艦隊は22日、ジョン S マケインが同日、南シナ海南沙(スプラトリー)諸島を航行。「航行の自由作戦」の一環	■
12.31	時事通信	第7艦隊、マケインとカーティスウィルバーの2隻が31日に台湾海峡を通過と発表	◆ ◆

●「毎日」、2020.7.27 エスパー国防長官は「40年の『航行の自由作戦』の歴史の中で、昨年は南シナ海での作戦の回数が最も多かった。今年もこのペースを続ける」と明言し、軍事面でも中国への圧力を強めていく姿勢を強調した。

●「Focus台湾」2020.12.19「国防軍や米軍がこれまでに公開した資料によれば、米軍艦が台湾海峡を通過するのは今年12回目になる」

2020年実績 ●「航行の自由」作戦12回(うち横須賀母港艦船7回) ●台湾海峡通過13回(うち横須賀母港艦船9回)